

平成 26 年 7 月 10 日

各 位

株式会社イデラ キャピタルマネジメント

お問い合わせ先 経営企画チーム

(TEL. 03 - 5771 - 9001)

レジデンシャル投資ファンドの初回クロージング完了のお知らせ

このたび、株式会社イデラ キャピタルマネジメント(以下、「当社」といいます)は、日本国内の主要都市に所在する高品質の賃貸住宅を投資対象とするファンド「JURIC II」(Japan Urban Residential Investment Club II)を立ち上げました。JURIC IIは初回クロージングとして、ヨーロッパのファンド・オブ・ファンズ2社と投資契約を締結し、購入案件第一弾として、大阪と京都の好立地に所在する賃貸住宅2物件を取得しました。

JURIC IIは、昨年3月にクローズされた前身ファンドであるJURIC IがSparinvest Property Investors A/S(本社:デンマーク・コペンハーゲン)とのパートナーシップのもとに順調に運用中であることを受け、同様の戦略に基づいた拡張プログラムとして設立されたもので、追加投資家を招聘していく方針です。

なお、JURIC II設立プロセス中であった5月には、中国の代表的な民営コングロマリットである復星グループが当社の新スポンサーとなっています。

JURIC IIは、当社の日本全国における豊富な物件ソーシング能力、アセットマネジメント能力および売却実績を活かすものであり、当社は引き続き、投資機会を探索中であります。

当社代表取締役会長である平井幹久は、次のようにコメントしております。

「このたび、JURIC IIの初回クロージングを発表できることをうれしく思っております。今回のクロージングは、JURIC Iを成功裡に終えた我々の戦略に対する投資家の支持の表れであると考えております。JURIC IIの戦略および当社の様々な強み・能力を評価していただいた投資家に深く感謝いたします。JURIC IIのクロージング・プロセスの最中に当社のスポンサー変更が実施されましたが、今回のクロージングを迎えることができたのは、当社の既存の事業基盤、新スポンサーである復星グループ、ならびに今後の当社の将来性に対して、投資家の皆様のご支持をいただけたためであると考えています。投資家の皆様には、今回のプロセスを通してJURIC IIのクロージングに向けて粛々と取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。昨年立ち上げたJURIC Iを、JURIC IIで拡大することができましたが、世界第二位の規模を有する日本の不動産市場に対する国内外の投資家の多様な要請にこたえるべく、当社はこれからも様々な投資機会を発掘し、ご提供してまいり所存です。今後数年間にわたって、安定的な経済状況の持続と安倍政権が検討している構造改革等を背景に、日本の不動産市場にはユニークな投資機会があると我々は確信しております。」

また、復星グループ会長である郭広昌は次のようにコメントしております。

「今回JURIC IIを、我々がイデラの新スポンサーとなって間もなくクローズできたことを大変嬉しく思います。多くの投資家と良好な関係を構築し、このようなファンドの組成を実現できるイデラの能力に我々は感銘を受けております。このJURIC IIの初回クロージングによりイデラの競争力が具体的事例として示されたわけですが、これこそ我々がイデラのスポンサーになった理由であります。JURIC IIのほかにも、今後さらにいろいろな実績が続いていくことを我々は確信しております。」

【復星グループ概要】

復星グループは1992年に上海で設立され、2007年に香港証券取引所メインボードに上場しています(復星国際00656.HK)。現在、復星グループは中国を代表する民営コングロマリットの一つであり、2013年12月期の株主資本は396億人民元(日本円で約6,617億円相当、1人民元16.71円で換算)となります。

復星グループは、「中国におけるチャンスとグローバル・リソースの融合」を標榜するユニークな投資方式により、「中国の急成長にフォーカスし、保険ビジネスに基盤を置く優良投資グループ」となることをビジョンに掲げており、フォーブス誌が2014年に発表した世界の公開会社上位2000社のランキングで751位になっております。

【当社概要】

株式会社イデラ キャピタルマネジメント(以下、「イデラ」)は、2001年に日本で設立された不動産キャピタルマネジメント会社です。イデラは強固な財務体質と、圧倒的な不動産マネジメントの現場力と長年培ってきたファンドマネジメント・新規商品開発力を有し、2014年3月期末の受託資産残高(AUM)は約1,600億円となっております。

以上

【免責事項】

当リリースに掲載されている情報は、当社の情報提供を目的としたものであり、内容についていかなる保証をするものでもありません。

当リリースに掲載されている当社及び復星グループの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の見通しであり、経済動向、業界での厳しい競争、市場需給、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。

当リリースは投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。